



アルミ・銅事業部門



- 震災やタイの洪水影響により需要が低迷し販売数量が減少、収益に影響
- 2012年度はタイの洪水影響がなくなるものの、液晶・半導体分野の需要回復に懸念

2011年度の概況

アルミ圧延品の販売数量やアルミ鋳鍛造品の売上高は、震災やタイの洪水影響により、エアコン向けや液晶・半導体製造装置関連などの需要が低迷したことから、2010年度を下回りました。

銅圧延品の販売数量は、銅管は堅調に推移したものの、銅板条は半導体向けの需要が減少したことから、2010年度を下回りました。

以上の状況から、2011年度の売上高は、前期比4.6%減の2,899億円となり、経常利益は、2010年度に比べ87億円減益の60億円となりました。

Topics

■「神鋼汽車鋁部件(蘇州)有限公司」、2012年8月量産開始

神鋼汽車鋁部件(蘇州)有限公司は、2010年6月に中国・江蘇省の蘇州市に設立し、2012年8月の自動車サスペンション用アルミ鍛造部品の量産開始に向けて建設を進めております。2011年11月に建屋が完成、翌12月に鍛造プレスの据付を完了、2012年1月から試運転を開始しています。また、足元では、中国における日本や欧米の自動車メーカーの販売好調による生産拡大を受け、同社アルミサスペンションの引き合いが想定を上回ったため、鍛造プレスおよび熱処理設備を各1台から各2台へ増設するとともに、上工程である溶解鋳造工程を新設し、一貫生産体制を構築することを決定しました(追加投資額45億円、2013年3月より生産能力約25万本(増強前は約12万本))。中国拠点の稼働により、日本と北米を含めた3拠点体制となり、増大する自動車メーカーの需要に対応していきます。



■アルミ押出事業のグローバル展開: SAPA社へ技術供与、高付加価値品をグローバルに供給

2012年3月、世界最大のアルミ押出メーカーのSAPA社と押出材の技術供与契約を締結しました。市場で高い評価を確立している当社独自開発合金も含め、溶解鋳造から押出製造までの一連の工程をSAPA社へ技術供与を行い、北米・欧州・アジアを含む全世

界にあるSAPA社の全押出プラント(30カ国50拠点)を通じて、ユーザーのグローバル調達ニーズに対応していきます。

■アルミ板事業のグローバル展開:中国でのアルミ板生産

アルミ板事業は、中国での現地生産について検討を開始するなど、日系や欧米系ユーザーの自動車用パネル材を中心とした現地調達ニーズへの対応を進めております。

■トヨタ自動車(株)から「技術開発賞」電磁成形ステイ貫通型バンパー

トヨタ自動車(株)から「電磁成形ステイ貫通型バンパーシステム」で、世界をリードする際立った新技術および新製品の開発によりトヨタ自動車(株)の商品力向上に大きく貢献した企業に贈られる「技術開発賞」を受賞しました。このバンパーシステムは、バンパービームと取付部品であるステイを世界で初めて開発・量産化した電磁成形加工法を利用し、かしめ接合により一体で組み立てたものです。溶接や、ボルト締めなど機械的に接合して組み立てていた従来品に比べて大幅な部品点数の削減と軽量化、コストダウンを実現することができました。



■「Aluminium China 2011(アジア最大のアルミニウム産業展)」に出展

2011年7月、中国上海市で開催された「Aluminium China 2011(中国国際アルミ工業展)」に出展しました。Aluminium Chinaは、アジア最大規模のアルミニウム展示会で、今回で7回目となり、出展者数は30カ国420社、約14,400人の来場者となりました。

当事業は自動車分野、IT関連分野におけるオンリーワンの製品・技術を中心に展示し多数の来場者から多くの関心が寄せられました。

